

平成 2 2 年度第 3 回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 平成 2 2 年 1 2 月 2 日 ( 木 ) 1 4 時 ~ 1 6 時 1 0 分
- 2 場 所 さぬき市役所 3 階 3 0 1 会議室
- 3 出席者 【委 員】柿木委員 工藤委員 小山委員 筒井委員 谷 委員 藤井委員  
細川委員 宮本委員  
【事務局】総務部政策課 十河課長 山下課長補佐 津村主査  
【傍 聴】0 名
- 4 会議次第 1 開会  
2 会長あいさつ  
3 議題  
(1)男女共同参画パネル展をふりかえって  
(2)男女共同参画講演会をふりかえって  
(3)男女共同参画セミナーについて  
(4)次回会議のスケジュールについて  
4 その他  
5 閉会
- 5 配布資料 【資料 1 - 1】平成 2 2 年度男女共同参画週間パネル展をふりかえって  
【資料 1 - 2】平成 2 2 年度さぬき市文化祭作品展「男女共同参画コーナー」をふりかえって  
【資料 2】平成 2 2 年度男女共同参画講演会をふりかえって  
【資料 3】平成 2 2 年度男女共同参画セミナー実施要領・詳細 ( 案 )  
【資料 4】セミナーちらし ( 案 )  
  
【資料番号なし】質問票
- 6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	定刻 ( 1 4 時 ) がきたので会議を始めたい。今はいないが、傍聴者が来た場合は随時入っていただく。今日は 4 人の委員が欠席しているが、忌憚のない意見をよろしくお願ひしたい。会長、挨拶をお願ひする。
会長	< 会長挨拶 >
事務局	今日は 4 つの議題を準備している。進行は会長にお願ひする。
会長	では、議題に入る。議題 1 「男女共同参画パネル展をふりかえって」、事務局、説明をお願ひする。
事務局	資料 1 - 1・1 - 2 を使って男女共同参画パネル展の実施内容とアンケート結果を説明

会長	意見・質問があればお願いします。
委員	前年度と比べて来場者数の増減はどうだったのか。
事務局	前年度の来場者数は把握していない。
会長	前年度は、協議会で当番を決めて会場で声かけもしたが、今年度の、おおむね210人という数字に対してのきちんとした比較はできない。
委員	政策課で人数をカウントしたのだと思うが、僕が行ったときには誰もいなかったもので、1人足しておいてほしい。
委員	市役所に用事でもなければ、わざわざパネル展を見に市役所にくる人は少ないだろう。今回は寒川の文化祭だけだが、他の町の文化祭でもパネルを展示してほしい。農協の展示会にも依頼すればいいのではないか。
事務局	文化祭への参加は初めての試みであり、仮運用として1箇所絞った。天王中学校からの出品が一番多かったので寒川の文化祭に参加した。多くの会場で行う場合、作品が痛むということと、会場スペースの問題、そして、文化祭来場者に、より興味をもってもらうための作品の取捨選択が必要である。こちらとしては、取捨選択の理由をはっきりさせておく必要がある。来年度、全中学校の美術部に作品依頼をする理由の一つである。来年度は、極力、多くの会場でできるように努力したい。
委員	6月のパネル展のときには、文化祭に展示することは考えていなかったの、持ち運びのことを考えずに短冊を貼った。来年度も文化祭などに展示するのであれば、それも加味して、もよりの地域の方々の作品を集めるといったことも考えて、あらかじめ意見を出し合って6月のパネル展に入っていきたいと思う。
事務局	作品がどれだけ集まってくるのかも見ながら、流動的に考えたい。
会長	長尾の文化祭は、会場に他の分野が入れる余地はまったくなかった。事前にスペースをもらえればいいが、難しいかもしれない。
委員	寒川の文化祭では、一番いい場所に飾っていたと思う。整然としてきれいすぎるという感があったが、入ってすぐに見えるので、来場した人は必ず、関心を持つきっかけになったと思う。6月のパネル展を、市の職員はどれくらい興味があって見たのかが気になる。
事務局	市役所の職員も見に来ていた。来年度は、庁内イントラなどで広報することも考えたい。
委員	寒川の文化祭は、男女共同参画だけではなく、子どもや団体などいろいろな作品があった。そんな中で出展できるのであれば、もっと力を入れたいと思うし、他の地区でも推進していければと思う。市役所の職員がなかなか来ないのは、何年も前からの課題である。公共交通の審議会もあるが、コミュニティバスに、(職員は)たまには乗っているのか?関係者だけではなく、広い視野で盛り上げるという雰囲気になれば、男女共同参画についても、よりいいかたちで推進できると思う。何か

会長	<p>につけ、みんなで力をあわせてやろうぜ、という気持ちが足りない気がする。</p> <p>パネル展についてはいくつかの課題がある。今年度初めて取り組んだ文化祭での展示は、関心をもってもらえるということで、より力を入れた展示に向けて準備していけばいい、市の職員に関心をもってもらうための方策も必要、市民と行政が力をあわせて推進する必要がある、ということだ。</p>
委員	<p>寒川文化祭の展示場所は、今年と同じところに、来年も再来年も展示できるようにお願いしておけばよい。来場者に対し、男女共同参画の展示はここ、という定着が必要だ。</p>
委員	<p>各町を一順してみても、やり方を考えればよいと思う。ポスターは中・高校生でないが無理だと思うが、小学生に頼むとすれば、習字が可能と思う。「男女同権」「なかよし」「思いやり」などであれば、5・6年生であれば十分に書ける。そういう面で小学校にも参加を促し、10月の文化祭に飾るのであれば、夏休み前の7月ごろくらいに学校に頼めばよい。例えば、もし、来年度、大川町の文化祭に参加するというのであれば、富田小、松尾小、大川一中に、夏休み前に事務局から、「10点ほど出していただけませんか？」というような依頼をしておけばよいと思う。子どもの作品が選ばれたとなれば、親は見に来る。それも大事なことだ。</p>
事務局	<p>校長あてに依頼すればいいのか。</p>
委員	<p>そうだ。</p>
会長	<p>パネル展は事前の準備が必要ということで、来年度もよろしく願います。 次の議題に入る。「男女共同参画講演会をふりかえって」について、事務局、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料2を使って、男女共同参画講演会の実施内容とアンケート結果等を説明</p>
会長	<p>意見・質問があれば願います。</p>
委員	<p>場所を変えていただきたい。パネル展もそうだが、すべて市役所や志度で行うのは、男女共同参画を広めるためには不足があると思う。9月4日は農村部では稲刈りの多忙期だ。今後はこれらも考慮してほしい。音楽ホールの設備がいいものだから主催者側の手間がかからないということははっきりしている。しかし、男女共同参画を普及させるためには、各地に分散するように工夫しないといけないと思う。</p>
委員	<p>講演者を呼ぶのであるし、設備の整ったところを利用するのは仕方ないことだと思う。体育館等の講演会では、マイクの音がすごく割れる。講演者の声が聞き取れないのは、どこの体育館でもあったと思う。たくさんの人数を集めたいのであれば、音楽ホールが適していると思う。ただ、コミュニティバスなどで来場者の交通手段の確保をしてもらえたら、もっと参加者が増えると思う。</p> <p>さぬき市が一つになってかれこれ何年になるのか。常に5つの町を意識しながら・・・というのもどうかな、と思う。そろそろ、さぬき市という感覚で物事をはかる時期がきていると思う。今育っている子どもたちは、さぬき市という感覚で育っている。「だから寒川なんだ、長尾なんだ」と、私たち大人が教えるようなかたちになるほうがデメリットになると思う。</p>

	<p>大きな行事が志度に固まっているとの声は聞くが、設備のある場所に固まるのは仕方がないと思う。活発に活動されているグループは各地にある。その場所、その場所で男女共同参画を広げていく努力をすればいい。男女共同参画は、そもそも地道に広げていく分野なので、イベントのような華をとるのではなく、実をとるつもりで頑張っていこうではないか。</p>
委員	<p>市役所が真ん中にあればそれでもいいが、端部にあるので非常に遠い。そういう全体で見たときにどうすればいいのか。施設についても、音楽ホールが一番いいのは分かるが、音響効果が整った施設が他にないわけではない。ただ、収容人員が多くないというだけだ。個的ではなく、全体的にみてどうあるべきかを考えてほしい。男女共同参画は末端の人に知ってもらわなければいけない。特に、若い人たちの離婚問題を考えるときに、男女共同参画の意識が浸透していればそれも減ってくるのではないかとすることも考えると、若い人に理解してもらおう努力が必要で、そのためにはどうしたらいいかという発想にしてもらわないといけないと思う。</p>
会長	<p>講演会の場所は、今までは音楽ホールで行ってきた。このことについて、旧町を巡るような場所設定はどうかという意見と、さぬき市として考えていくときに設備の面から考えても音楽ホールが最善ではないかとの意見があった。そのことについてのみいかがか。</p>
委員	<p>この問題は、男女共同参画の講演会やパネル展をどこにするか、ということにとどまらない。行政改革推進委員会で、花火大会をどこにするか、とか、それに類した催しはどうするのか、という話し合いをしている。合併前は、旧5町でいろいろなイベントを行っていた。合併当初は、それを1本化すると聞いていたが、総論賛成各論反対というふうである。しかし、それを言い出したら収まりがつかないが、会場と交通手段の問題もあるだろう。一朝一夕に解決できる問題ではないと思う。</p>
委員	<p>場所としては、寒川町がさぬき市のへそである。合併協議会でも市役所の場所については何度も議論があったが、人口が多く、交通の便もよいなどの理由で今の位置になったが、前山や多和の人からは遠い。まだまだ根は残っているので、来年は寒川でやってもらいたい。そして、「あなたはどちらから来ましたか？」というアンケートをとればいい。何もかもが志度だ、ということになると少しおかしい。だから、文化センターを建てるという意見も出るがお金がない。もしまわりというよりも、山手と志度で、隔年で実施すればいいと思う。寒川農村環境改善センターなら音響も大丈夫だろう。</p>
委員	<p>寒川農村環境改善センターも使わせてもらったが、マイクの音が割れる。</p>
委員	<p>男女共同参画講演会の場所に関わらず、他の問題も含めて、寒川も長尾も、私は津田だが、何もかもなくなってしまうと、若い人も少なくなって、どうしようというかんじだが、そんなことを言っていたらきりが無い。我々委員自身の意識改革を、まず最初に。さぬき市民の意識が変わらない、やっぱりこんなふうにしてる、それ以前に、我々委員の意識改革がスタートで、大事な、という気がした。いろいろなところがまとまっていくには、メリット・デメリットがあるし、個人的にもマイナス・プラスがあると思う。考えを譲り合って、不便なところは不便なままで我慢して、よくなったことは協力しあってもっと盛り上げるようにすればいい。我々自身の考えがまとまっていない気がする。</p>

委員	<p>どの意見もごもっともと思う。委員がおっしゃったように、全ての人の気持ちの中に住みやすい社会を作る気持ちがあるのだから、それぞれの場所に講演会を持っていく、というのは一つの意見と思う。立派な講演者を呼ぶからこの会場でないといけないとか、全部がセットされているから音楽ホール、ではなく、いろんな講演会がいろんな場所で行われているので、場所を変えてみるという提案もいいだろう。全ての人に道を開いていくということで、全て柔軟な考えで行えばいい。音楽ホールでないといけないとか、全ての気持ちを一致させないといけないというのは別の考えで、全てが折り合いをつけて住みよい社会つくるという道をつけていけばいいと思う。今、会場はどこというのは決めるべきではないと思う。</p>
会長	<p>会場の問題からいろいろな問題に波及したように思うが、香川県の行事をすれば、よほどのことでない限り高松市で行う。そのとき、高松ばかりでするなら行かない、ということになるだろうか。</p> <p>寒川農村環境改善センターで講座をしたが、申し訳ないが、その音響は厳しいものがあった。津田公民館も音響が厳しかった。音響調整のプロが入ればなおるのかもしれないが、さぬき市としての行事であれば、どこになるかな、と思う。ここだ、と決めてしまう必要はないが、皆さんで考えながら、今年度も事務局から打診があった上で、音楽ホールに決まったと思う。それで不都合があるというのであれば次に向けて考えればよい。</p> <p>他の市町の例だが、今年、高松市は、男女共同参画講演会を市役所で行っていた。何かしらの選択の条件に基づいて場所の設定をするのも一つだと思う。委員からの発言にもあったが、男女共同参画だけの問題ではなく、他の角度からの検討も必要とは思いますが、ここは男女共同参画推進協議会なので、他の部署への提言は事務局にすると、協議会としては、委員がおっしゃったように、自分たちの意識改革をまず、というのは、なかなか的を得た意見だったと思う。</p>
委員	<p>場所の選定はどこがするのか。</p>
事務局	<p>市の案として、委員に提案して「よし」となればそのままだが、違う場所のほうがよいというのであれば、事務局としては協議会の意見はできるだけ尊重するということになる。</p>
会長	<p>協議会への提案があった上で決まったと考えている。違う場所がいいというのであれば、来年度の企画の中で意見を出しあえばいい。</p>
委員	<p>講演会の参加者は、定年を過ぎた人が大半だった。男女共同参画の普及を考えたときに、厳しいものがあると思う。若い人に聞いてほしかった。</p>
会長	<p>講演会に参加した年代層を問題視しての意見だが、皆さんはどうか。</p>
委員	<p>男女の割合も女性が圧倒的だし、世代も高齢者が多い。男性に理解してもらう必要がある。「女性が楽しいからやかましく言うのか」となれば申し訳ないので、偉い人にしゃべってもらえれば、「そんな時代なのか」と、男性は思いやすい。男性の特別枠をもうけるのもおもしろいと思う。</p>
会長	<p>男性の集客について工夫がいるのではないかと、この意見だが、他にはないか。</p>
委員	<p>男性の集客は、これからも、様々な会や地域のコミュニティでの課題だと思う。</p>

	<p>午前中に、香川県の見守り隊の会議に出ていたが、99%女性であった。男性はどこにいるのか、といった具合であった。見守り隊は、地域の高齢者の詐欺や孤独死などを防ぐための、地域の安心・安全を見守るための隊なのだが、それを担うのは女性に限られているのかな、と思うぐらいだ。募集しても応募が無く、婦人会にお願いしたのだろうかとは思っているが、自治会には話があったはずだがどのくらい浸透しているのかと思う。孤独死などで名前が連なっているのは男性である。退職した男性はどのように生きていくのか、とか、どのように見守っていくのか、ということが課題だと思う。</p> <p>男性はなぜ、住みやすい社会をつくるための活動に参加しないのか、なぜ濡れ落ち葉と例えられるようになってしまったのか。男女共同参画講演会もそうだが、どういうふうになれば、男性が参加してくれる社会になるのか、私たちの(男女共同参画の)分野での課題でもあると思う。</p>
委員	<p>年配の女性は、3人4人と友達を連れてくるが男性はあまり見ない。(男性の委員に聞くが、)友達を誘って何かに参加されますか？</p>
委員	<p>ないような気がする。</p>
委員	<p>友達というよりは、必要な人は連れて行く。友達という感覚と、会議に必要な人ということの区別はする。</p>
委員	<p>そのへんのラインが、男性が参加しづらい原因の一つなのか？</p>
委員	<p>それもあるが、定年を過ぎた男性は、社会に対して奉仕をしようとの考えを持つ人と、逆に、仕事が終わったんだから自分の好きなことをするから他人や自治会などのお世話は一切しない、というふうに完全に二つに分かれる。男性は、4対6ぐらいでお世話をしない考えのほうが多いだろう。</p>
会長	<p>4対6なら大成功だ。</p>
委員	<p>自分の出身や育ちはさぬき市ではないので、同級生がいるわけではないし、誘う相手はごく限られてくるし、その中でさぬき市に住んでいる人は、本当に数えるくらいしかいない。実際に何かやるときに困るのは、話をもっていくところがないことだ。協議会では発言をするが、「あなたは何人連れて来れるの?」と言われれば、正直、困る。</p> <p>先ほど、委員がおっしゃったように、我々も変わっていかねば、いつまでも昔をしょって言いたいことを言っていれば、収まるものも収まらないのかな、と思う。あれが悪い、これが悪い、こうしてくれ、と、お願いばかりするのではなく、そのためには自分は何をやったらいいいんだ、どう動いたら本来の姿になるのかを考えるほうが先かな、と思う。</p>
委員	<p>若い人の参加が少ないという意見だが、男女共同参画を頭に掲げて、おやじの会やPTAの会で研修などを行っているので、子どものいる方であれば、若い方でも、(男女共同参画を学ぶ場に)参加する機会は結構ある。この講演会の人数比だけを見て、若い人が(男女共同参画に)関わってないとは言い切れない。確かに、さぬき市では、おやじの会のような大きな会が目立って動いていないかも知れないが、PTA活動の中で運動されている方は多いので、少しずつだが、意識的には、年配の方よりは(男女共同参画の)話に触れる機会は多いかもしれない。</p>

委員	<p>年に1回、志度で何十万かかけて講演会をやるというアドバルーンはあったらいいと思うが、大事なことは、アドバルーンの下にどれだけ根っこを作るかということで、(そのことを)みんなで悩んでいるんだと思う。1つ思ったのは、出前授業のようなかたちで、男女共同参画を5町へ切り込んでいくべきではないのか。公民館活動は委員会の所管だから、公民館長と合議をして、共催で、例えば、婦人学級や長寿大学とかPTAと協力してPTAの講演会に参加していくとか、単発ではなく、いろいろなところで共催をしていけばいいのではないかと。市から講師をあっせんするとか、講座を開いてくれたら謝金を出しますとか、各町に小さく出て行く根っこの部分を生やしていかないと、音楽ホールで花火を打ち上げるだけでは浸透しにくいと思う。四国電力や香川用水などの出前事業は地域に出てきてくれる。そういう取り組みも必要だと思う。さぬき市の広報には人権や育成センターのコーナーがあるのだが？</p>
会長	<p>去年は隔月で男女共同参画コーナーがあった。</p>
委員	<p>非常に難しい問題だが、打ち上げ花火も大事にしながら、少しずつ根っこを伸ばしていければいいな、と思う。</p>
委員	<p>市政懇談会に出てくる自治会長はある程度しぼられているのかもしれないが、あいった会でも男女共同参画の話をするとか、意見をもらうのも、底辺を広げるといふか、幅広く情報を吸い上げるという意味では一つの方法と思う。しかし、時間が相当かかるので、いいか悪いかは別だ。出かけていくということも必要だと思う。</p>
会長	<p>事務局から、何か意見はあるか。</p>
事務局	<p>9月4日は、稲刈りの時期とは分かっていたが、国勢調査の関係で(例年より)かなり前倒しになった。来年度、講演会をするのであれば考えさせてもらう。場所についてだが、音響などステージ設定をするとなるとお金がかかるので、講師謝金を抑える必要がでてくる。今回は、講演内容と講師を第一に考えたので、たくさんの人に来てもらうことや、見栄えといった費用対効果も考えた場合、志度音楽ホールを選択することになった。交通手段のことだが、80歳代の参加者から「地域のふれあい活動の中で連れてきてもらった」との意見がアンケートに書かれてあった。講演会をきっかけに、地域の中で心のふれあいができ、横のつながりで参加して下さったということは、とてもありがたい。市が、乗り物を準備するのも一案だが、「講演会に行きたい、行ったほうがいいよね、じゃあ私が連れて行ってあげるわ」というような広がりができるれば、さぬき市としての一体感がもっと芽生えてくるのかな、と考えている。</p> <p>来年度についてだが、どのような講演会を開くのかということは白紙であるが、男性の参加を増やしたいという意見は以前からあった。では、具体的にどうすればいいのか、ということについてはなかなか議論が進まない。今回は、ポスターをたくさん準備して、幼稚園など多くの場所に貼ったという取り組みもしたのだが、チケットを取りに来た人の意見を聞くと、音声告知や広報紙、CATVで知ったという方が多かった。今回の結果から考えると、ポスターがどれだけ浸透したのだろうと疑問である。今後も(ポスター宣伝を)しないというわけではないが、やはり、声かけなどが大事なのかな、と考えている。場所については、講師に誰に来てもらうのか、どのような規模でするのか、どのような層をメインターゲットにした話にするのかなどを考えると、一緒に考えさせていただく。5町で巡回するということ</p>

	<p>になれば、会場を中心に物事を決めるということになりかねないので、いかがかと思う。さぬき市とすれば、男女がともにいきいきと暮らせるまちづくりを進めているのであるから、(講演会の参加人数が)男性が多い・女性が多いということには個人的にはあまり注目していない。(講演会に参加した)女性が家に帰って、男性に、講演会の内容や「こうすれば、私もあなたもいいと思うのよ」と、きっちりと家庭内で話をしていただければ、それはそれで成功だと考えている。市の意見と事務局の意見は違うかもしれないが、それらの考えも委員の皆さまに知っておいていただき、来年度の講演会に向けて、そのときに話を詰めていきたいと考えている。</p>
会長	<p>全国津々浦々、国レベルでも、男性の参加が少ないことは課題になっている。若い人が少なく、高齢に入った方々の参加が多いということも、全国的に見られる傾向である。それはそれなりに意味があると思う。先ほどの委員同士での質問からも分かるように、ジェンダーがある。男性は外で働くことを中心にしていた。(男性委員に聞くが、)PTAの授業参観に、委員はいったことはありますか？</p>
委員	<p>半分くらいは行った。</p>
委員	<p>仕事を持っていたらいけない。</p>
会長	<p>そのような中で、家庭のことは妻に、というのがほとんどだと思う。そういう世代が定年退職をして、さてさて・・と思ったときに、自分の人生どうかな、と思ったときに、私は人を誘うのが上手だが、夫は、人を誘うのは苦手だと言っていた。女性の参加が多いというのは、大げさな言い方かも知れないが、(今までの)生き方が、今の講座などの参加の男女比に現れているのかも知れない。だが、それはマイナスではない。家に帰って、講座の内容を話せば、「そんなんわしに関係ないわ」という人もいれば、「おお、そうか。ちょっと考えないかな」とか、さまざまなやりとりがあれば、女性が多く参加して男性が少なかったこともマイナスにはならないと思う。</p> <p>さぬき市では、平成17年度から、市民企画講座を政策課で実施している。それぞれの団体が申請をして、承認された団体が、地域や学校に出かけて行って講座を開く、いわゆる出前講座を、市の助成を受けて実施している。また、JAや長寿大学で男女共同参画の講座をしたいといえれば出かけていくし、民生委員児童委員の会では、事務局の担当が出かけて行って、男女共同参画の講座をしていることも知っておいていただき、来年度に向けて話し合いを進めていきたいと思う。</p>
委員	<p>研修にいくと、ワークショップがある。参加者は女性が多いのに、発表となると男性にまわってくる。「男性だからあなたね」と言われれば、少し違うと思う。</p> <p>このままでいいわけではない。夫婦で角を突き合わせても仕方ない。何かの機会をとらえて、男女共同参画の考え方と自分たちの生活を比べて模索していくことが大切だと思う。</p> <p>自分たちの活動が、さぬき市の男女共同参画の推進につながっているのか不安に思うときもある。</p>
会長	<p>「男女共同参画セミナーについて」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料3・4を使って男女共同参画セミナー(案)の説明</p>
委員	<p>定員は25人ということだが、玉浦川柳会の方々も含んでか。</p>



事務局	そうだ。玉浦川柳会の会員全員が来てくれるとは考えられない。25人とは書いているが、増やすことも可能である。
委員	25人では多いか少ないかは迷うところではあるが、もう少しいてもいいと思う。
事務局	会場スペースもあるし、進行の方法を考えればもう少し増やしてもどうにかなるような気がする。意見を参考にして、定員は30人と書く。
会長	チラシのイラストは、男女共同参画なかんじのイラストに変えてほしい。
事務局	変更する。
委員	ちらしはカラーにするのか？
会長	黒でいい。
事務局	カラーは高いので、色紙にして黒色印刷を考えている。
会長	何枚準備するのか？
事務局	まずは100枚準備する。仕上がったら（宣伝用に）各委員に郵送するが、何枚郵送すればよいか。
会長	全員に20枚はきついかもしれない。
事務局	では、5枚から10枚を郵送させていただく。
会長	今、川柳がいろいろな場所でとりあげられているのでおもしろい取り組みだと思う。ファシリテーターは玉浦川柳会に頼むのか、協議会委員に頼むのか？
事務局	男女共同参画を広めることを重視したいので、協議会の委員の皆さまにお願いするつもりである。
委員	ちらしには、川柳の例を載せているほうが来やすいかもしれない。（掲載作品を）選ぶのは難しいかもしれないが。
会長	今年度の（パネル展の）川柳の中から選んでもいいのではないか。
事務局	了解した。努力する。
会長	では、来年2月16日の「女と男のせんりゅう講座」への協力をよろしく願いする。「次回会議のスケジュール」について、事務局説明をお願いする。
事務局	次回開催予定時期（3月上旬から中旬）などの説明
委員	今日の資料1・2のような資料であれば、事前に配布しておいてもらえるとあり

事務局	<p>がたい。郵送料の問題などがあると思うが。</p> <p>案内と一緒にという難しいかもしれないが、了解した。資料の事前配布に努めるようにしたい。</p>
会長	<p>その他の連絡はあるか？</p>
事務局	<p>質問票の取り組み説明と提出のお願い</p>
会長	<p>以上で第3回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会する。(16:10)</p>